

## 事業見直しの考え方

事業見直し案については、以下の考え方に沿って、行政内部で検討を進めるとともに、これまでにいただいた市民、市議会、関係団体の意見を勘案して取りまとめたものです。

- 1 社会経済情勢や市民ニーズに合っているのか、市が実施する必要性があるか、効果は十分表れているか、コストが過大ではないか、公平性は保たれているかといった点から事業を検証し、見直しを検討しました。

事業の検証においては、事業の客観的な要素について、以下の状況に当てはまっていないか確認しました。

要素		状況
ア	利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの利用状況、イベントの参加者数が低い</li> <li>・サービスの利用者、イベントの参加者が事業対象者の一部に偏っている</li> </ul>
イ	継続期間	長期間継続して事業を実施している
ウ	他自治体の状況	近隣・類似自治体を上回る水準となっている

- 2 事業の実施方法に着目し、以下の状況に当てはまる事業について、見直しを検討しました。

実施方法		状況
①	個人給付	年齢など形式的な基準で一律に給付している
②	補助等	市からの支出金が主に団体自体の運営経費に充てられている
③	イベント	開催そのものが目的となっている